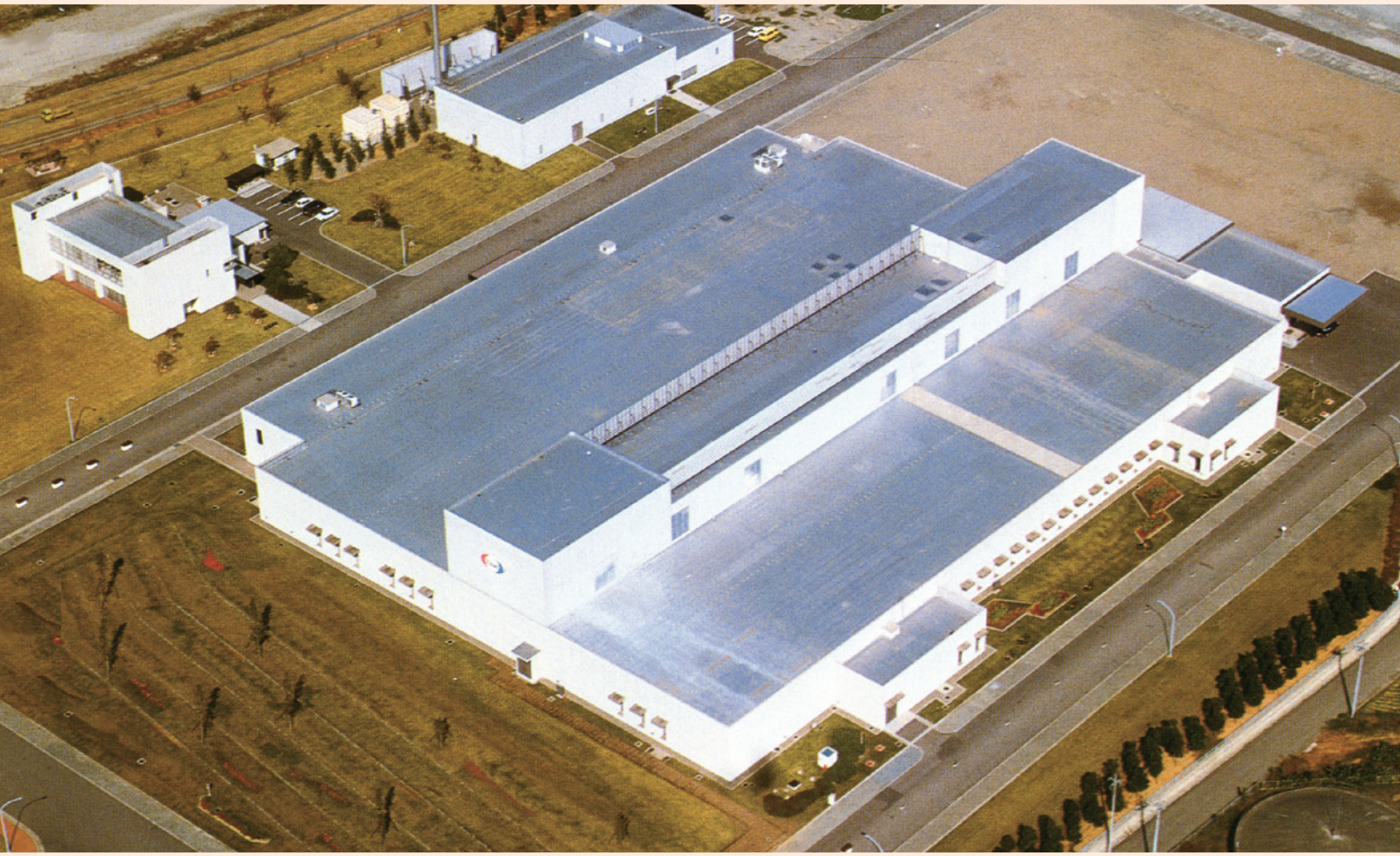
FURUKAWA ELECTRIC GROUP

屋上防水用断熱材・下地調整材

古河電工の架橋ポリエチレンフォーム

フォームエース®



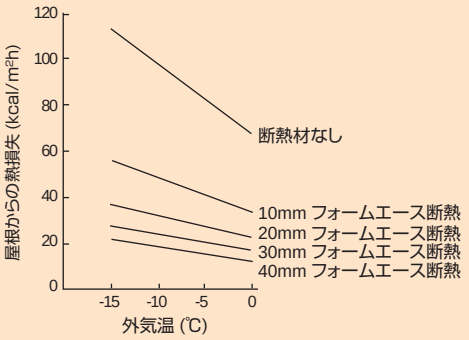
古河電工

断熱性能と施工性を追求!!

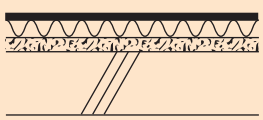
屋上防水用断熱材・下地調整材

フォームエース®

屋根からの熱損失量（冬期）（室温 =22℃、外気風速 =3m/s の場合）

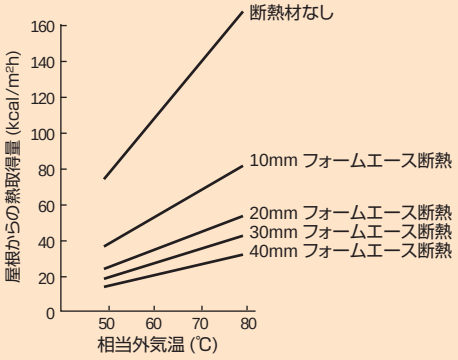


試験条件



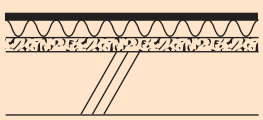
防水層	2mm
フォームエース	0 ～ 40mm
モルタル	30mm
コンクリートスラブ	120mm

屋根からの熱取得量（夏期）（室温 =26℃、外気風速 =3m/s の場合）



注）相当外気温は日射の輻射伝熱による影響を伝導伝熱として簡単に取り扱えるように、相当温度を外気温に加味した仮想の外気温で、空気調和設備の負荷計算にしばしば用いられます。

試験条件



防水層	2mm
フォームエース	0 ～ 40mm
モルタル	30mm
コンクリートスラブ	120mm

外からの熱を遮断して建物を熱的劣化から守り、省エネに貢献する古河電工の防水用断熱材。新築時はもとより補修、改修時は防水・断熱同時施工のチャンスです。

断熱施工すると……

(1) 建物の耐久性を高めます

屋上スラブは酷暑、冷寒によって膨張収縮が繰り返されています。最外層で熱遮断し、スラブ躯体への影響を軽減して、ヒビ割れや破損を防止し建物の耐久性を高めます。

(2) 省エネに貢献します

灼けた屋根からくる夏の夜の火照りや冬期の底冷えを防ぎ、冷暖房費を低減します。

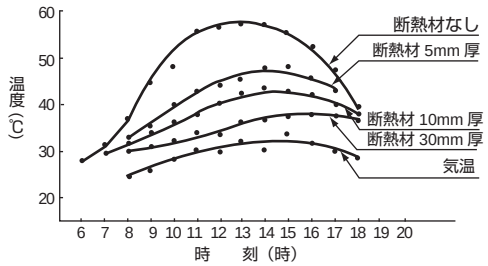
(3) 結露防止にも効果的です

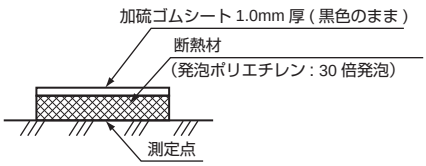
フォームエースは独立気泡構造なので吸水が少なく、長期に渡って安定した断熱性能を維持します。

(4) 防水水層を保護し、美麗に仕上がります

フォームエースは適度な柔軟性を持ち、スラブ面の凹凸や亀裂を直接防水層に伝えず緩衝することで、防水層の破断を防止します。また、平滑な下地を作り、美麗に仕上がります。

コンクリートと断熱材面の日照による温度上昇（例）
（合成高分子ルーフィング工業会　シート防水マニュアルより）





フォームエースは ハードスキン 剥離強度 独特な梨地表面 が特長です。

(1) 施工がし易く美麗な仕上がり

・接着面を独特な梨地表面構造なので、圧着時エアが溜まりにくく、接着が容易です。
・ハードスキンですから位置決め、貼り直しが容易です。

(2) 優れた強度

・独特な製法により、防水用断熱材として要求される引裂強度、圧縮強度が特に優れています。

(3) 施工性をあげる厚物ロール品群

・30mm の厚物まで長尺ロール化しています。ジョイント部を減らし、作業スピードアップが図れます。

(4) 温度差にも柔軟に対応

・ハードスキンと素材強度によって、温度差による伸縮を低レベルに抑えています。

(5) フロン不使用

・地球環境保護のため、フロンは全く使用しておりません。

●フォームエースの特性

試験項目		単位	SN-3000W
見かけ密度		kg/m^3	29
引張強さ	縦	kPa	305
	横	kPa	234
伸び	縦	%	122
	横	%	132
引裂強さ	縦	N/cm	17
	横	N/cm	18
圧縮 応力ーひずみ（25%）		kPa	43
圧縮 永久ーひずみ	30min	%	10
	24hr		5
熱伝導率（23℃）		W/（m・K）	0.040
吸水率（B 法）		mg/cm^2	0.09

試験方法は JIS K 6767：1999 を参考にした自社法によります。
ただし、熱伝導率は JIS A 1412-2：1999 を参考にした自社法によります。
表中の値は単層シート 10mm 厚の実測値であり保証値ではありません。

●標準仕様

SN-3000W（30 倍発泡　色：ナチュラル）
ロール品　幅：1m

厚さ（mm）	長さ（m）	1 巻質量（約 kg）	ロール直径（約 m）
4 ※	100	14.0	0.9
5	100	17.5	1.0
10	50	16.0	1.0
15	50	24.0	1.1
20	25	16.0	0.9
25	25	20.0	1.0
30 ※	25	24.0	1.1

出荷単位：巻

※は受注生産品。その他は在庫品です。
特殊サイズのご相談にも応じます。

定尺品　幅：1m、　長さ：2m

厚さ（mm）	入り数（枚）	1 包質量（約 kg）	梱包高さ（約 cm）
20	15	19.2	30
25	10	16.0	25
30	10	19.2	30
35 ※	5	11.2	18
40 ※	5	12.8	20
45 ※	5	14.4	23
50 ※	5	16.0	25

出荷単位：包

※は受注生産品。その他は在庫品です。
特殊サイズのご相談にも応じます。

古河産業株式会社　https://www.furusan.co.jp/

本　社	〒105-8630	東京都港区新橋４丁目21番３号（新橋東急ビル）	TEL. (03) 5405-7619	FAX. (03) 5405-7633
関西支社	〒530-0001	大阪市北区梅田２丁目２番22号（ハービスENTオフィスタワー）	TEL. (06) 6345-6998	FAX. (06) 6347-1669
中部支社	〒450-6643	名古屋市中村区名駅１丁目１番３号（JRゲートタワー）	TEL. (052) 414-5162	FAX. (052) 414-5268
九州支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前３丁目２番１号（日本生命博多駅前ビル）	TEL. (092) 483-5615	FAX. (092) 483-5610
北海道支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西４丁目１番地２（J&Sりそなビル）	TEL. (011) 231-4721	FAX. (011) 231-4720
東北支店	〒980-0811	仙台市青葉区一番町４丁目１番25号（JRE東二番丁スクエア）	TEL. (022) 262-2521	FAX. (022) 221-5758
中四国支店	〒730-0037	広島市中区中町８番18号（広島クリスタルプラザ）	TEL. (082) 246-8531	FAX. (082) 249-7950

■製造元

古河電気工業株式会社　https://www.furukawa.co.jp/foam/

AT・機能樹脂事業部門

本　社	〒100-8322	東京都千代田区大手町２丁目６番４号（常盤橋タワー）	TEL. (03) 6281-8580	FAX. (03) 6281-8637

●お問い合わせは

古河電工機能樹脂製品
LINE 公式アカウント
友だち募集中！

LINE

ＱＲコードを携帯カメラで読み取り！

・このカタログの内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。
・このカタログに記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

輸出管理規制について　本書に記載されている製品・技術情報は、我が国の「外国為替及び外国貿易法並びにその関連法令」の適用を受ける場合があります。また、米国輸出管理規則（EAR：Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本書に記載されている製品・技術情報を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において、必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省 または 米国商務省へお問い合わせください。

P-517 2303 TR 100